

警備業務・機械警備業務

項目	内容
1 警備業務の範囲	歴史文化にぎわいプラザ敷地内の建築物を含むすべての財産の保全及び施設内出入者への対応等を行ってください。
2 業務の実施	<p>建物内外の警備を実施し、当館を利用する者や従事する職員が安心して利用又は従事できるようにするため、また、敷地内の建築物や工作物当の財産保全のため、警備業務を行ってください。</p> <p>警備業務の実施にあたり、下記の業務水準を満たしてください。</p>
3 業務水準	<p>業務については、「建築保全業務共通仕様書」（国土交通省大臣官房官庁営繕部 最新版）を参考にしてください。ただし、以下の点に留意し実施してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務を遂行するために、次の警備業務を実施してください。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 常駐警備 (2) 機械警備 ・ また、設備が常に正常に作動するよう定期的に保守点検を実施してください。 ・ 電気設備工事で設置した監視カメラの位置は別紙（設備資料 2）を参照してください。なお、次の項目に留意したシステムとしてください。 <ol style="list-style-type: none"> ① 真っ暗な状態においても画像をコントロールセンターに自動送信する暗視カメラシステムを設置してください。設置箇所は次のとおりとします。 <設置箇所> <ul style="list-style-type: none"> ・ 千利休茶の湯館（1F） ・ 与謝野晶子記念館・企画展示室・収蔵庫・収蔵庫前室・準備室（2F） ② 館内主要部分の画像を録画できる一般監視カメラを設置してください。監視カメラは、監視区域が暗い場合においてもカラー画像から白黒画像に自動切り換えが可能で鮮明な画像を表示できるものとしてください。 ③ 1 階事務管理室通用口、収蔵庫・収蔵庫前室・準備室・企画展示室～準備室および準備室～2 階コンコースの鍵については、入退室管理が可能な電気錠・IC カードシステムを設置してください。

項目	内容
(1) 常駐警備 (ア) 常駐警備 ① 出入監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不審者の館内への進入を防止してください。 ・ 面会強要者等来館者に対する責任者への報告を行ってください。 ・ 緊急事態発生時における責任者への報告を行ってください。 ・ 館内の物品の不正持出しを阻止してください。 ・ 展示物への危害を防いでください。
② 盗難防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各階の施錠点検及び室内、通路の窓の開閉等を実施してください ・ 盗難事故発生時には、現場保存を行ってください。 ・ 時間外の拾得物、遺失物を保管し、指定管理者責任者に引き継いでください。
③ 火災防止	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、利用者を安全な場所まで誘導するとともに、消防車が到着するまで消火器等を使用して初期消火にあってください。 ・ 火災発生時は、直ちに消防署へ連絡してください。 ・ 指定場所以外における火気使用、喫煙者発見時の注意と制止を行ってください。 ・ 消火器等消防設備の位置等の点検を行ってください。 ・ 避難通路上における障害物除去のための措置を行ってください。
(イ) 巡回警備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的に館内外の巡回を行い、安全を確認してください。 ・ 火災、盗難の初期発見と予防を行ってください。 ・ 不法侵入者を発見した場合は、警察への通報等適切な処置を行ってください。 ・ 必要のない電灯を消滅してください。 ・ 建築物やサイン等の落書きの有無を確認してください。
(ウ) 車両誘導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場が混雑した場合に交通整理を行ってください。 ・ 大型バスの予約がある場合に、駐車場への誘導を行ってください。 ・ 車両誘導を行うにあたり、制服、制帽を着用の上、左上腕部に車両整理誘導を示す腕章を着用してください。 ・ 昼間においては手旗、夜間においては赤色灯を用いてください。

項目	内容						
(2) 機械警備 (ア)防犯監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ 異常事態を感知した場合には、直ちに警備員が急行し確認の上、警察への通報等適切な処置をとってください。 ・ 茶室庭園周りは周囲を赤外線センサーで警備し、ブザーによる威嚇警備とします。また、センサーによる情報の監視、事故発生時の緊急出動、必要に応じて警察への通報等適切な処置をとってください。 						
(イ)火災監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災感知器及び煙感知器による情報を監視し、事故発生時には緊急出動し、初期消火や消防署への通報等適切な処置をとってください。 ・ 復元茶室を対象とした炎センサーを設置し、センサーによる情報の監視、事故発生時の緊急出動、消防署への通報等適切な処置をとってください。 						
(ウ)設備監視	<ul style="list-style-type: none"> ・ 警報装置等による情報を監視し、事故発生時には直ちに警備員を急行させるなど緊急出動してください。 						
4 警備時間 (1) 常駐警備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常駐警備の実施時間は、開館時間等を勘案して適切な警備時間としてください。なお、現在の警備時間は下記のとおりとなります。 <p><現在の警備時間></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>時間</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 常駐警備(休館日を含む)</td><td>8:00～19:00</td></tr> <tr> <td>② 巡回警備</td><td>8:30～19:00</td></tr> </tbody> </table>	項目	時間	① 常駐警備(休館日を含む)	8:00～19:00	② 巡回警備	8:30～19:00
項目	時間						
① 常駐警備(休館日を含む)	8:00～19:00						
② 巡回警備	8:30～19:00						
(2) 機械警備	機械警備の実施時間は、開館時間を勘案して適切な警備時間としてください。						
5 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械警備機器の設置、取り外し、保守点検等に係る一切の費用は、指定管理者の負担となります。 ・ 観光案内展示室、茶室・茶庭については、個別警備対象区域とします。 ・ 警報装置警備解除中に館全体の警報装置警備開始はできないものとしてください。 						